

歯科材料 03 義歯床材料
管理医療機器 義歯床用アクリル系レジン (70824000)
(歯科汎用アクリル系レジン 70916010) (歯科用長期的使用咬合スプリント向け材料 70929000)

ジーシー プロキャスト DSP

【禁忌・禁止】

メタクリレート系モノマー又はポリマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

形状

- ・粉末 (各色) 650g
- ・液 460g

色調

- ・7色=No.8 (ライブピンク)、ピンクベイン、マスキングピンク、ブレーンピンク、クリアー、A1、A2

主成分

- ・粉末：メタクリル酸エステル重合体
- ・液：メタクリル酸メチル

原理

- ・流し込み用の粉末と液を混合すると粉末が膨潤しつつ常温重合により液成分のモノマーが重合し粘性が上がり重合硬化に至る。

【使用目的又は効果】

- ・メタクリル酸エステル単量体及び重合体等を主成分とし、加熱重合法によって義歯床を製作するために用いる。
- ・暫間インレー、クラウン、ブリッジ及び歯科用咬合スプリント等の製作に用いる。

【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

ポリカーボネート樹脂、ポリスルホン樹脂、ポリエーテルスルホン樹脂製人工歯へは、十分に接着しない恐れがあるので、使用を避けること。

【使用方法等】

＜義歯床及び歯科用咬合スプリントの製作＞

- 1) 蠟義歯の製作
通法に従い、蠟義歯の製作を行います。
- 2) スプルーの植立
蠟義歯の埋没操作を行い、スプルーを移行的に植立します。スプルーの直径は、全部床では10mm、部分床では8mmを目安にします。
- 3) コアの製作
石こう等によるフラスコ埋没、又はシリコンパテ等でコアを製作します。
- 4) 脱蠟
通法に従い、脱ロウします。石こう面や人工歯を熱湯で充分、脱ロウします。脱ロウが不十分な場合、レジン歯への結合が弱くなりますので注意します。(レジン歯の接合面は一層削除して、新鮮面を出すことをおすすめします。)
- 5) 義歯床用分離材の塗布
石こう面は熱湯で充分洗浄し、義歯床用レジン分離材(ジーシー ニューアクロセップ等)を均一に塗布し、乾燥します。シリコンパテ等で製作した場合、人工歯をコア内の所定の位置に戻し、固定します。
- 6) 計量
粉および液を計量します。標準粉液比(粉末/液)は10g/6mLです。
- 7) 混和及び脱泡
気泡が入らないように約10～15秒間混和後、パイプレータ等を使用して約10秒間気泡を除去します。

8) 注入

脱ロウのために加熱されたコアおよび模型を室温まで冷却後、コアのスプルー口から流し込みを行います。流し込みが可能な時間は23℃の条件下において、混和開始より約2分を目安とします。

9) 加温及び加圧

流し込み後直ちに、レジン注入口のみ水面から出して他は水没させて、パーマボットUP-Ⅲに約55℃の温水を張り、圧力0.2MPa(2kg/cm²)にて、30分間加温加圧します。

10) 取り出し、研磨

パーマボットから取り出して室温まで冷却後、バリやスプルーを切除して、通法に従い、修正・研磨を行います。

11) 保管

完成した義歯床及び歯科用咬合スプリントは、口腔内に装着するまで水中に保管します。

＜暫間インレー、クラウン、ブリッジ等の製作＞

1) コアの製作

通法に従い、支台歯歯列模型上に歯冠外形の回復を行い、シリコンパテ等でコアを採得します。コアは必要に応じ、通路の付与やマージン部の修正、スプルー部の付与や修正を行います。

2) レジン分離材の塗布及び計量

支台歯作業模型に、義歯床用レジン分離材(ジーシー ニューアクロセップ等)又はワセリン等の分離材を塗布して乾燥します。

3) 計量

粉及び液を計量します。標準粉液比(粉末/液)は、圧接法で10g/5mL、流し込み法では10g/6mLです。

4) 混和及び脱泡

気泡が入らないように10～15秒間混和後、パイプレータ等を使用して約10秒間気泡を除去します。

5) 注入

コア中に流し込み、直ちに支台歯作業模型を圧接し、ゴムバンド等で固定します。ただし、スプルーの植立等を行った場合は、先に支台歯作業模型にコアを取り付け、ゴムバンド等で固定して流し込みます。圧接及び流し込みが可能な時間は、23℃の条件下において混和開始より約2分を目安とします。

6) 加温及び加圧

流し込み後直ちに、完全に水没するようにパーマボットUP-Ⅲに約55℃の温水を張り、圧力0.2MPa(2kg/cm²)にて、30分間加温加圧します。

7) 咬合調整、研磨及び装着

室温まで冷却後、咬合調整や研磨を行い、仮着用セメントで合着します。

8) 追加補修

追加補修にはジーシー ユニファストⅢを用います。

9) 保管

完成した暫間修復物は、口腔内に装着するまで水中に保管します。

※注入装置にて本材を使用する際には、標準粉液比(粉末/液)は10g/5mLです。また、各注入システムの取扱説明書に従い、操作します。

〔使用方法に関連する使用上の注意〕

- 1) 使用時は、粉液比の調整可能範囲内で使用すること。
- 2) 混和時は、混和時間が短いと混和物が不均一になるので、規定時間充分に混和すること。
- 3) 粉末と液を混和後は、すぐにコアに注入すること（注入のタイミングを逸すると、混和物の注入が不十分になる恐れがあります）。粉末又は液の温度が高いと餅状化が促進されて、操作余裕時間が短くなるので注意すること。
- 4) 重合後、フラスコの冷却は、温水中に浸けたまま自然冷却する等、徐々に行うこと。（ゆっくり冷却することにより、重合工程に起因する寸法変化の影響を低減することができます。）
- 5) 義歯床用レジン分離材を石こう面に数回塗布する際、人工歯に義歯床用レジン分離材が付着しないよう注意すること。
- 6) 使用する石こう模型が乾燥している場合は、吸水させること。（重合後に気泡の発生を低減させることができます。）
- 7) 人工歯とレジン床との接着力を向上させるために、本製品の液を含ませた綿棒等を、人工歯の基底面に 2～3 回こすりつけること。

【使用上の注意】

- 1) 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
 - ①薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本材及び類似品に対して過敏症歴がなくとも問診を行い、慎重に適用すること。
- 2) 重要な基本的注意
 - ①本材の使用により発疹などの過敏症状を起こした患者には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。
 - ②本材に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本材を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
 - ③粉末、液又は液と粉末の混合物は、直接素手で触れないこと。また、皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。皮膚に付着したときは、すぐにアルコールなどで拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入ったときは、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
 - ④本材の液成分にはメタクリル酸系モノマーを含んでいるため、蒸気を吸入して気分が悪くなった場合は、新鮮な空気の中で暖かくして休憩すること。また、頭痛、めまい、吐き気、呼吸困難等の重篤な症状を伴う場合は、すぐに医師の診察を受けること。
 - ⑤本材を使用した硬化物の研磨作業等の際には、粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用し、粉塵を吸入しないこと。
 - ⑥本材は可燃性であることから、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所等）に放置しないこと。テーブル、床上等にこぼしたときは、すぐに乾いた布でよく拭き取ること。〔引火又は発火する可能性がある〕
 - ⑦液は揮発性を有することから、使用する際には適切な換気（1 時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。〔配合物には鼻に刺激性のある物質が含まれているため、鼻腔内に刺激を引き起こす可能性がある〕
 - ⑧重合したレジン水中に保存し、残留モノマーを溶出させてから、口腔内に装着すること。〔配合物に為害性のある物質が含まれているため、為害作用を誘発する可能性がある。〕
 - ⑨粉末が凝集した場合は、使用前にほぐしてから使用すること。〔凝集物により、製品本来の性能が得られない可能性がある〕
 - ⑩開封後はできるだけ速やかに使用すること。〔開封後は、経時変化の状況に影響を及ぼす可能性がある〕
 - ⑪他の製品と混用しないこと。〔製品本来の性能が得られない可能性がある〕
 - ⑫本材は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外には使用しないこと。
 - ⑬本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
 - ⑭本材については、試験による MR 安全性評価を実施していない。（自己認証による）**

- 3) 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）
 - （1）〔併用注意〕（併用に注意すること）
他の常温重合レジンに使用したプラスチックヘラやラバークップ等と共用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- 1) 本材は、火気厳禁の冷暗所（4～25℃）に保管し、一つの保管庫に大量に保管しない。
- 2) 高温となる場所（ストーブの側、直射日光の当たる場所など）を避けて保管する。
- 3) 保管場所には、消火装置を備える。
- 4) 粉末と液の容器は、使用後、速やかに蓋をしめる。
- 5) 本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。

〔有効期限〕

本材は容器に記載の使用期限までに使用する。

※（例 2028-06 は
使用期限 2028 年 6 月を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】*

製造販売元：株式会社ジーシーデンタルプロダクツ
主たる設計元：株式会社ジーシー

発売元：株式会社ジーシー
住所：〒113-0033
東京都文京区本郷 3 丁目 2 番 14 号
電話番号：（お客様窓口）0120-416480